

今回のまとめ

【やみなべ グループ】

やりたいこと：防災サバイバル体験
地域の課題：防災意識の低さと住民同士のつながりの希薄さが、有事の際に不安
→楽しみながら防災意識を高め、色んな人とつながろう！

【スポーツバンド グループ】

やりたいこと：達人教室
目的：子どもに地域の後継者として残って欲しい
→地域の良さや魅力を子どもたちに知ってもらい「地元に残りたい!!」と思ってもらう

【アクティブプロジェクト グループ】

やりたいこと：アクティブマーケット
地域の課題：地域を盛り上げるためのイベントを開催しても若い人が参加してくれない
→小規模イベントを多会場で開催。世代間の交流と発信の場を提供して
まちづくりに興味をもってもらう

【チーム☆こくふ グループ】

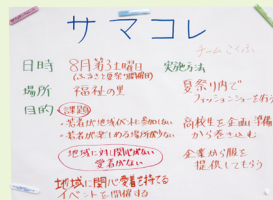
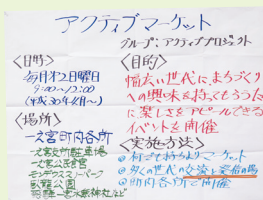
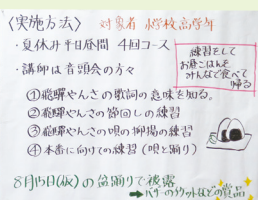
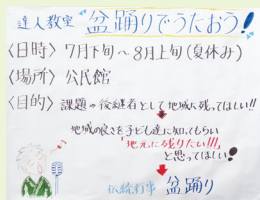
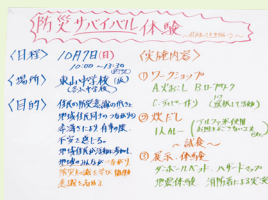
やりたいこと：ファッションショー
地域の課題：若者対象のイベントが少ない。若者が楽しめる場所がない。
→高校生を取り込み、高校生に向けて企画する

参加者の声

- どのように企画を立てたら良いかわかった
- 他の地域の方の考えが聞けて良かった

発表会来場者の声

- どの企画も大変興味深く、参考になる内容でした
- 若い人たちの熱い思い、地域への思いを知ることができて大変よかった。頼もしく思いました。



大学と地域の 協働の在り方を考える

2017.10.25

平成25年12月に地域協学センターが設置されて5年目。今後さらなる地域協学を進めるために新たな拠点も開設され、10月25日に開所式を行いました。この節目に合わせて、改めて「地域が岐阜大学に期待すること」をテーマにフューチャーセンターを開催しました。

当日は、岐阜大学生の他、地域の方々や地元企業・自治体の方々にもご参加いただき、大変有意義な対話の場となりました。



今回のまとめ

- 大学側から文化を乗り越えた連携方法を提案する
- 頼って、たのんで、地域とパートナーとなるような情報発信による関係構築
- 地域協学センターが中心となって大学・学生・地域をつなぐ

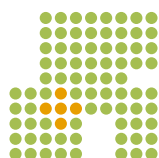
今後の展開

成果を学内外に発信するとともに、COC事業やCOC+事業の継続的な取り組みの中で今回の意見を反映させていく。

担当者の感想

(地域協学センター 大宮康一)

新拠点の開所式に合わせて、地域協学センター設立直後に実施したフューチャーセンターと同じテーマで開催した。地域、自治体、企業の方々から生の声を聞くことができ、まだ多くの課題があることを改めて認識することができた。



CCSC
Center for Collaborative Study with Community

地域協学センター
TEL.058-293-3880
http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp

[FAX] 058-293-3881
[E-Mail] ccsc@gifu-u.ac.jp



国立大学法人
岐阜大学



文部科学省
地(知)の拠点